

まちの日記帳



技術の向上を目指して 消防救助訓練を実施

10/24 ~ 10/26

北後志消防組合積丹支署（俵谷支署長・署員17名）は、3日間にわたり、はしごと担架を使用した救助技能訓練を行いました。

訓練は、建物内の高所から人が動けなくなったことを想定。消防隊員は、建物の2階や3階の高さにはしごを架けて要救助者を担架に乗せ、その後ロープで、はしごを固定しながら慎重に救出するものです。

いつ、どこで発生するかわからない、様々な災害に対応する技術力を身につけるために行われた今回の訓練。技術の更なる向上のために必死に訓練に励む姿は、私たち町民の命と財産を守る消防隊員17名の使命感と技術力の高さを象徴し、町の誇りです。



熱い戦いが展開

第25回B&G財団会長杯バレーボール大会

10/25

B&G海洋センターで第25回目となるB&G財団会長杯バレーボール大会が開催され、5チーム34名の参加者が熱い戦いを繰り広げました。

大会は町内のみならず古平町から出場する選手もあり、参加者は優勝を目指して懸命に一つのボールを追いかけました。大会結果は次のとおりです。

【女子の部】

優勝 バリ子 チーム

準優勝 ガンパローズ チーム

第3位 古平2 チーム



歯の磨き残しは？ 巡回はみがき教室

11/9 ~ 11/11

小樽市歯科衛生士の辻村和枝さんを講師に招き、積丹町子どもの歯を守る会（高野秀喜会長（町歯科診療所歯科医師））が、巡回はみがき教室を保育所と子育て支援センター、各小中学校で行われました。

小中学校では、歯の磨き残しをなくすために、磨き残しが多い部分の歯ブラシの使い方や正しい歯の磨き方についての指導を受けました。また、ホームカメラを使用し、自分の口の中や歯の状態を確認しました。

保育所と子育て支援センターでは、園児の保護者も参加して、子どもの歯の磨き方や歯の大切さについて教わっていました。



「時間と感動の共有」を！ 町P連 家庭教育講演会

11/15

『時代は豊かになったが、人間的に乏しくなっているという現在の時代背景を指摘しながら、子どもとの時間と感動の共有を大切にしてほしい。』と、講師のHBCラジオ番組でお馴染みの金子耕弼（かねこ こうじ）氏が熱く語りかけました。

しつけの基本的な技術やマナーを訓練することや体罰のあり方『今 求められる家庭でのしつけ』と題したこの日の講演会には、町PTA連合会（鈴木良治会長）の保護者や教員など74名が美国小学校に参集し、熱心に耳を傾けていました。



新しい介護を学ぶ 介護者元気教室を開催

11/16

在宅介護をされている方同士で交流・意見交換を行い、心身をリフレッシュすることで、在宅介護の継続を手助けする介護者元気教室が開かれ、今年4月にオープンした特別養護老人ホーム「ゆうるり」を見学しました。

参加者は、同施設職員から施設の日常的な状況や地域ボランティア協力者が行う施設行事の説明を受けました。また、入居者と会話を楽しむ場面もあり、参加者からは『家族や知人が気軽に会いに行ける環境がいいね。』といった感想が聞かれ、介護施設での新しい介護のあり方を学んでいました。



町内飲食店を“はしご” しゃこたんにぎわいはしご酒大会

11/18

積丹飲食店組合（別所範一会長）主催の、美国町内の飲食店10店舗を巡る「しゃこたんにぎわいはしご酒大会」が開催され、参加者はお寿司やお酒などを堪能しました。

職場の同僚や友人などを連れ添って町内外から集まった参加者は4コースに分かれ、1時間15分の制限時間内に5軒をはしごしました。今年は参加店も増え、初冬の街にひとときの賑わいを見せてくれました。

また、ゴール後に行われた恒例の大抽選会では、ビールやお米、特賞の千円札のつかみ取りなど多数の景品が用意され、一つひとつの番号が読み上げられるたびに会場は拍手と大歓声が響いていました。

